

いなづま

題字 小寺寛一

発行所 函館地方電気工事協同組合
 編集総務部
 住所 函館市日乃出町7番22号
 印刷所 畠山印刷



朝市名物 かに売り

労災死亡事故四件続発!!

——安全作業・安全管理を 洗い直そう——

今年の四月から十一月までの僅か半年余の間に函館地区に於けるわが電設業界において、死亡事故が四件発生し、二十才代、三十才代の四名の尊い人命が失なわれ、打ち続く不況下の暗い業界環境に追い打ちをかける様に暗い影を落としている。

最初の事故は四月十八日に発生した。高圧線の接続工事中六〇〇〇ボルトに触れ感電死。原因はトランスのヒューズを接続したままの初步的なミスと報告されている。

この事故の補償問題が未解決中の七月八日第二の事故が発生した。これは非組合員業者であったがやはり感電事故である。安全を期するため高額な作業車を利用しての作業中、常識では考えられない様な誤認による接触感電死であった。

十月十七日土曜日、各新聞の第一面が北炭夕張新鉱のガス突出事故の記事で埋まつた。死亡・行方不明あわせて九十三名の犠牲者を出し、戦後道内最大の炭鉱事故が発生したことは、犠牲者遺族や従業員のこれららの生活、会社の再建、しいては夕張市や地域の盛衰にかかる問題として、連日の様にテレビ・新聞等にとりあげられ、他人事として見逃すことの出来ない事であることは言うまでもない。

この恐ろしい夢のような事実がさめない十月三十一午前九時、電話のベルがまた事故を告げてきた。墜落死亡事故である。今年五月以来会社総ぐるみで道東方に仕事を求め、送電線鉄塔組立作業中作業責任者が地上高約四十米からの墜落事故で、現場に居合わせたものが異口同音に何故落ちたのか不明との事である。転落の原因としてはそく多くはない筈で、命綱の使用の誤りか、命綱の欠陥しか考えられない。

この事業所は一昨年も送電線工事で死亡事故が発生して居り、奇しくも二度共被害者が会社代表者の弟であつたと言う事も見逃すことが出来ない事である。

十一月一日、前述の被害者の告別式が始まる十一時頃電話のベルは無情にも第四の死亡事故を告げてきたのである。高压電柱の支柱取替作業中の感電死亡事故であった。本人は勿論、同じ作業をしていた同僚も、会社の代表者も、支柱の取替作業で感電すると言う事は全く考えてなかつたのだと思う。がしかし現実には感電死であり誰一人としてそれを否定する事は出来ないものである。

安全に関する投資はいくらかけても損にはならない。

一旦事故を起させばその事業所は潰滅的な経済的打撃を受けるのである。

安全防具を設備し、定期的に又事故発生の都度貴重な時間を費して人命の尊さを説き、事故の恐ろしさを教える事故防止に最大の努力をしているにも拘らずこの様に事故が続発すると言うことは何故なのだろうか。

これら一連の事故の原因はいづれ判断とするであろうが、言える事は幾ら投資をしても、教育をしても、作業にたづさわる者がそれを確実に実行しなければ、結果は無駄な投資であり教育をしなかつた事と全く同じになつて終うと言う事である。

安全管理者は安全を教育することのみが仕事でなくそれを確実に実行させる事が真の仕事なのである。

配電線工事にても、引込線取付（電柱側の）にしても安全な作業のための手順や、活線に対する近接作業のための防護基準、更には作業監視等の約束事がそれぞれ定められている筈である。高所作業の身体の確保のための用具やその正しい使用方法も定められて、いる筈である。毎度教育され周知徹底している筈の安全に関する守事項を無視する処に事故発生の陥り穴があると思う。

繰り返し繰り返し教えこんで、安全作業と言つてはやるべき手順を正確に尊守することだと言う思想とタタキ込み、完全に実行させる事である。

役員会だより

第一回役員会

五六・四・一七

一、慶弔報告

(一) (有)光南電機社長病氣入院見舞
(二) 日本電設工業㈱函館支店長母堂死去

二、貸付報告

八社 三四〇万円

三、各支部・部会報告並提案事項

福島支部＝研修旅行を実施した。

四、総代会について

(一) 日時＝五月二十八日(木)午後二時
(二) 場所＝組合会議室

五、昭和五五年度収支決算について

江差支部＝支部総会を開催した。

六、部会の編成について

北支部＝研修旅行を実施した。

七、訓練校の卒業式

(一) 日時＝五月二十九日(金)午後二時
(二) 場所＝組合会議室

八、提出議題について

八社 五〇万円

第三回役員会

五六・六・一五

一、慶弔報告

(一) 上ノ国電気工業所代表者ご尊父死去
(二) 高瀬電気商会代表者ご尊父死去

二、貸付報告

一社 五〇万円

三、各支部・委員会報告並提案事項

東支部＝金融事業について、分割返済による貸付の方法を講じられないか。

八雲支部＝奉仕活動として、『憩の家』の配線点検を実施した。

江差支部＝支部事務局を和光電気工事内に変更した。

四、共同保守管理業務について

吉田副理事長が、道工業組合の保守管理業務の担当

当になつたので、大倉理事長と二人が神奈川県の視察に参加する。

五、新規加入組合員に対する業務研修について

- 三、全道技能競技大会報告
- 四、各支部・部会報告並提案事項
- 八雲支部＝支部総会を開催（於銀婚湯）
- 中渡島支部＝觀桜会を開催
- 五、総代会について

この約半年間に四件もの死亡事故が発生したと言う
わが業界に於ける未曾有の事態を眞剣にとらえ、現場
の安全管理を洗い直し、経営の中の安全管理が如何に
重いウエイトを占めているか更めて考え方を改め直しひ口災害
に再出発しようではないか。

最後に殉職された四名の方のご冥福をお祈りする。

- 六、役員の分担業務について
- 道工業組合の役員構成に準じ、分担業務を提案審
議した。
- 七、子メーテーの検満工事について
- 通産局、北電、計器工業、保安協会と合同会議を
開催、子メーテー検満工事の実施を決定した。
- 八、譲受・譲渡による加入について
- 八、譲受・譲渡による加入について
- 九、電気工事士試験のための特別訓練実施
- 十、会計期末監査報告
- 十一、共同保守管理業務について

- 三、全道技能競技大会報告
- 四、各支部・部会報告並提案事項
- 八雲支部＝支部総会を開催（於銀婚湯）
- 中渡島支部＝觀桜会を開催
- 五、総代会について

- 六、役員の分担業務について
- 道工業組合の役員構成に準じ、分担業務を提案審
議した。
- 七、子メーテーの検満工事について
- 通産局、北電、計器工業、保安協会と合同会議を
開催、子メーテー検満工事の実施を決定した。
- 八、譲受・譲渡による加入について
- 九、電気工事士試験のための特別訓練実施
- 十、会計期末監査報告
- 十一、共同保守管理業務について

六、事務局職員のベースアップ、夏期手当の支給について

いて

七、脱退者未払金の支払いについて

いて

第四回役員会

一、慶弔報告

(一) 沢谷電気商会代表者死去

(二) ヘイヤ電気商会代表者ご母堂死去

(三) 櫛北電工代表者ご母堂死去

二、貸付報告

八社

三三五万円

三、各支部・委員会報告並提案事項

福島支部＝木古内町において安全大会を開催した。

八雲支部＝各ブロック毎に交通安全の集いを開催した。

総務委員会＝(一)事務局職員佐藤勇が七月三一日で退職した。

(二)電気保安功労者の表彰推せん者を選定した。

(三)金融事業については事故がなく推移している。

(四)総務委員会事項

(一)移動役員会 九月二三日 於十勝川温泉

正副理事長のほか各委員会から一名計六名が出席することに決定した。

(二)加入規程案について
加入規程案について説明審議した。なお、新たに定められた加入審査手数料は五万円に決定。

五、技術・教育委員会事項

(一)共通仕様書についての説明会

電気工事の共通仕様書が四年ぶりに改訂されたので、ホテルアカシヤに於いて説明会を開催する。

(二)リングボルト等補助支持物の取扱いについて
さきに通達すみであるが、九月一日から完全実施される。

六、事業委員会事項

(一)共同保守管理業務技術員認定講習会について

現在までの申込数は八一社で、八雲支部について

は単独で開催するが、江差・福島支部は函館の会場に出席すること。

(二)子メーターについて

申込数は一一社で、今後の実施等については、工藤、平井理事が担当する。

(三)子メーターについて

申込数は一一社で、今後の実施等については、工藤、平井理事が担当する。

組合行事

6月 4日	理事長・副理事長会議	6月 4日	道工業組合会計中間監査に吉田副理事長出席	26日	西支部会議
9日	共同保守管理業務講習会に大倉理事長、吉田副理事長・坂本事務局長出席(於札幌市)	9日	福島支部安全大会	26日	新規加入者業務研修会
10日	訓練校主任指導員会議	10日	八雲支部森ブロック交通安全大会	26日	共同保守管理業務指導員講習会に大倉理事長ほか四名出席(於札幌市)
11日	全道事務長会議、厚生年金基金事務取扱説明会に坂本事務局長出席(於定山渓)	11日	電気工事士試験(実技)のための特別訓練(於市職業訓練センター)	26日	吉田副理事長出席
12日	東支部会議	12日	八雲支部八雲ブロック交通安全大会	26日	全日電工連災害互助会に大倉理事長出席
13日	江差支部会議	13日	電気工事士試験(実技)のための特別訓練(於市職業訓練センター)	26日	(於東京都)
14日	総務委員会	14日	建災防協会函館支部役員会・総会に佐々木監事出席(於函館建設会館)	26日	道工業組合役員会・委員会に大倉理事長、長ほか四名出席(於札幌市)
15日	第三回役員会	15日	北支部会議	26日	総務委員会、事業委員会
16日	電気工事士試験(学科)のための特別訓練(於市職業訓練センター)	16日	渡島地方技能訓練協会役員会に坂本事務局長出席	26日	吉田副理事長出席
17日	共同保守管理業務視察(神奈川県工業組合)に大倉理事長、吉田副理事長参加	17日	北電函館營業所安全衛生協議会に坂本事務局長出席	26日	吉田副理事長出席
18日	北海道職業能力開発協会事務長会議に佐藤職員出席(於函館市)	18日	子メーター検査会議(出席者理事四名、組合員五名)	26日	西支部会議
19日	札幌協組創立三十周年記念式典に大倉理事長出席(於共愛会館)	19日	対北電・計器工業、組合子メーター検査会議(出席者理事四名、組合員五名)	26日	新規加入者業務研修会
20日	札幌協組創立三十周年記念式典に大倉理事長出席(於共愛会館)	20日	事打合会議に大倉理事長ほか三名出席(於北電)	26日	共同保守管理業務指導員講習会に大倉理事長ほか四名出席(於札幌市)
21日	札幌協組創立三十周年記念式典に大倉理事長出席(於共愛会館)	21日	事打合会議に大倉理事長ほか三名出席(於北電)	26日	吉田副理事長出席
22日	札幌協組創立三十周年記念式典に大倉理事長出席(於共愛会館)	22日	事打合会議に大倉理事長ほか二名出席	26日	吉田副理事長出席
23日	札幌協組創立三十周年記念式典に大倉理事長出席(於札幌市)	23日	事打合会議に大倉理事長ほか二名出席	26日	吉田副理事長出席
24日	札幌協組創立三十周年記念式典に大倉理事長出席(於札幌市)	24日	事打合会議に大倉理事長ほか二名出席	26日	吉田副理事長出席

い　な　づ　ま

9月1日	29日	27日	26日
西支部會議 保守管理業務技術員認定講習会（於組合） ○受講者五九名（詳細別掲）	全右（於八雲商工） （於八雲商工） 道工業組合對札幌通商室打合會議に大會理 工會）○受講者二五名（詳細別掲）	（於八雲商工） （於八雲商工） 道工業組合對札幌通商室打合會議に大會理 工會）○受講者二五名（詳細別掲）	（於八雲商工） （於八雲商工） 道工業組合對札幌通商室打合會議に大會理 工會）○受講者二五名（詳細別掲）

トとして、又、電気需要家のよりよきコンサルタン
トとしての役割りに積極的に取り組んで成果をあげた
いものと思います。

事業として、又、電気需要家のよりよきコンサルタン
トとしての役割りに積極的に取り組んで成果をあげた
いものと思います。

なお、向後毎年、新規の認定講習会が実施されるこ
とになつて居りますので、今年度実施しなかつた組合員
も明年度以降、大いにこの制度を利用することを期
待いたします。

共同保守管理業務

その後の経過

共同保守管理業務

（於東京都）



昭和五十六年度
年末特別融資
決まる

昭和五十六年度 年末特別融資 決まる

云う組合員の意見も一、三聞かれましたが、組合定款に定められた貸付限度額が二五〇万円と云うこともあって、前年同様一〇〇万円、二〇〇万円の二通りの融資となりました。

組合員の異動変更

「住居表示の変更」

新

四

一
（不才注音）

田舎町二四三

四書

函館市昭和四丁

一、有白川電氣

函館市昭和

一、有松本電氣工業

函館市昭和三丁目

一、三洋電工株

函館市昭和二丁目一五十七

一、光進電氣工業

函館市昭和三十

一、(有)本庄電氣工業所

上磯郡上磯町久根別丁目一七二四

上磯郡上磯町字東浜町二

勲六等瑞宝章の受章

扇谷電気工業所



扇谷 巳之作 氏

扇谷さんは、松山広域消防組合上ノ国町消防団分団長として長年

にわたって地域社会のため尽くされて居りますが、このたびその功績が認められ、秋の叙勲者として栄の勲六等瑞宝章を受章しました。

心からお喜こび申し上げます。

交通栄誉章の受章

守屋電気商会

守屋 富二郎 氏



守屋さんは、七飯交通安全協会の会長を務めるなど二十年余にわ

たって、地域の交通安全組織の育成と事故防止に務め現在は同協会の顧問として尽くされて居りますが、本年度の交通安全功労者として、交通栄誉賞『緑十字銅章』を(株)日本交通安全協会から贈られました。心からお喜こび申し上げます。

電気保安功労者の表彰

(電気工事業者営業所)
函館拓北電業㈱



吉田 要 氏

(電気工事業者営業所)
タマツ電気工業㈱



玉津 栄次郎 氏



池田 唯 吉 氏

(個人)
(株)池田電気工事

編式 径種 亘長	2線式			3線式		
	2.6%	8%	14%	2.6%	8%	14%
10m以下	10,470 10,000	11,550 11,050	13,370 12,820	13,950 13,390	15,450 14,840	17,980 17,330
15m以下	12,530 11,990	13,860 13,370	16,670 15,900	16,470 15,880	18,530 17,830	22,130 21,360
20m以下	14,580 13,970	16,360 15,700	19,790 18,980	19,000 18,370	21,610 20,820	26,270 25,400
25m以下	16,640 15,960	18,660 18,020	22,900 22,050	21,720 20,850	24,700 23,800	30,410 29,430
30m以下	18,690 17,940	21,160 20,340	26,020 25,130	24,250 23,340	27,780 26,790	34,550 33,460

* 上段は改訂工事費・下段は現行工事費

◎リングボルト、リングコチの取扱いについて
引込線を取り付けるため、需要家の需要場所内に設置する補助支持物のリングボルト、リングコチは、需要家負担により施設することに変更されました。これに伴ない同金具を左記により販売致しますので、組合事務局にご注文願います。

● ● リングボルト 一本当 一二〇円
● リングコチ 一本当 六五円

お知らせコーナー

◎北電の引込・計器工事の工量単価が、八月一日竣工分より次のように改訂されました。

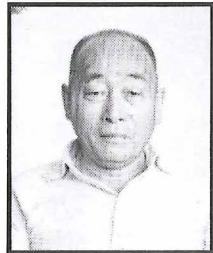
- 一、引込工事工量単価
一点当たり 一七〇円(現行一六〇円)
- 二、計器工事工量単価
高压工事 一点当たり 一七〇円(現行一六〇円)
低压工事 一点当たり 一五八円(現行一四八円)
- ◎計器移設工事費が八月一日竣工分より次のように改訂されました。

技術講習会開催

共通仕様書の解説など

去る八月五日午前十時より、ホテルアカシヤに於いて当組合及び函館電設業会との共催で、「昭和五十六年度建設省電気設備工事共通仕様書・至上標準図の講習会が開催された。

適正な施工と各種規格の熟知のため一部組合員からの要請と、発註者側として、函館市工営課からの要望もあって、前年行われた現場代理人講習会に続く技術講習会として開かれたものである。

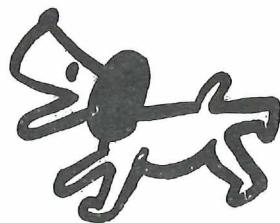


追悼記

故成田一房氏は、今夏八月中旬より病のため、七飯町の国立第一療養所で再起を期し専心療養に努めて居りましたが、その効なく過ぐる十一月十六日不帰の人とならられました。

講師は、北海道開発局宮繕部設備課長補佐小室堅三氏と設備課當繕監督官神山利郎氏を公務多忙の中を、特に依頼し快諾を得た。受講出席者は、市内及び郡部合わせて約八十名にのぼり、今回は特に、函館市工営課柳館電気設備係長と田村主任が出席した。

講習会は昼食をはさんで約四時間半熱心に行われ、最後に柳館係長の挨拶があつて盛会会裡に解散した。組合では、毎年この種の技術講習会を一、二回程開催する予定である。



組合員消息

- 一、一〇月一五日 石高電氣代表者石高孝見殿病院入院

- | | | |
|----|--------|---------------------------|
| 一、 | 八月二〇日 | 工藤電氣工業所代表者工藤和
典殿ご尊父ご逝去 |
| 一、 | 一〇月二九日 | (有)姥名電氣從業員殉職 |
| 一、 | 一〇月三〇日 | 稻見電氣商會代表者稻見久男 |
| 一、 | 一月 四日 | 稻見電氣商會代表者稻見久男
殿ご令室ご逝去 |
| 一、 | 一月 二日 | 稻見電氣商會代表者稻見久男
殿ご母堂ご逝去 |
| 一、 | 一月一六日 | 成田電氣工業所從業員殉職 |

中国を旅して

平沼智子

去る七月二十五日より八月九日迄の約半月間、N.H.K.の募集に応じて中国シルクロードの旅をして来ました。コースは

往 成田—上海—西安—蘭州—酒泉—安西—敦煌

復 敦煌—柳園—蘭州—上海—成田
の行程で、成田—上海の往復はともに中国民航のジエット機でしたが、上海—西安—蘭州並びに帰りの蘭州—上海はプロペラ機です。冷房が全々ゼロで搭乗したら扇子をくれました。自分で好きなように涼を取りとの事なのでしょう。蘭州—酒泉、柳園—蘭州は寝台夜行列車（軟臥車）で、行きは十五時間、帰りは二十分間の汽車の旅です。

酒泉—安西—敦煌はマイクロバス、敦煌—柳園迄もマイクロバスで、この時は午前三時半起床、四時出発、ゴビの砂漠の端を横断して柳園に着いたのが七時半、途中五、六十頭のラクダを連れた中国人に遇いカメラのシャッターを切ったことと、トイレタイムで十五分ストップしただけで、一気に飛ばして来たので相当の距離があると思ひます。道路は砂漠の中の直線の簡易舗装路で対向車などはありません。マイクロバスとは思えないスピードでした。

参加人員は男十三、女十三の計二十六人で、内教職にある者が十九人居りました。さすがN.H.K.の募集と思ひました。私は本職が仏像の修理師で、大学で古美術の講師をしている先生の後にびつたりくついて、いろんな事を教えて頂いて、大変よい勉強になり、大きな収穫でした。この先生は、毎年中国奥地へ来ているとの事でした。

勿論、名所旧跡を歩きましたが、実によく博物館を見学したと思います。沢山の古代中国の遺品や発掘品

を見て本でのみ知っていたものを現実に目前にして感激したこと多々ありました。

上海は重要な目的地でなく奥地への飛行機待ちの時

間帯の中での見学でしたから、行って見たいと思うところもありましたが、思うにまかせませんでした。

特に、七世紀の日本の遣唐使がどの辺りに着いたのか楊子江のあたりを見たいと思いました。中国は見学はすべて事前の申請許可との事で、コースの中での自由はきかぬとの事でした。

上海で一番印象に残ったのはガーデンブリッジです。

この橋は昔（開放前）外国人居住地と中国人居住地の境界の橋で、中国では「外白渡橋」と云うのだそうですが、かつては外国人は無料で中国人は通行料を払つて渡つたとの事。開放後は誰でも無料で渡りますが、中国人は現在でもガーデンブリッジと呼んでいます。

それは国民の心の中に二度とこの屈辱をくりかえすなどの戒めとしているとの事でした。

魯迅の住居並びに墓を見ましたが、住居は以外と狭

く一部屋で三階まで、そんな作りの家が両側に並んでいる小路の一番奥にありました。日常使用していました。ほとんどの事が調度品も少なく実に質素でした。常に官憲の目を逃れる為に居所を変えたのですから余けいなものは必要を感じなかつたのでしょう。机と本並びに本箱以外はカップ一ヶ皿一枚の感じでした。

工業展覧館で半日以上つぶれました。ここは現在の中国がこのような機械でこのような物を生産していると云う展示会場です。建物が大きく広くゆつたりとスペースを取つてありました。若い女性が各部門に別れて説明して居ります。紡績、織物、金属加工、機械工作物・製油等あらゆる工業部門の展示です。私は漢方薬のコーナーに興味をもちました。一行の中に機械、測量の高等の先生が居り、日本から見ると相当古い昔の機械を使用しているとの事でした。しかし、国の政策として、外国人は全てこの工業展覧館を見学するようにコースに義務づけられているらしく、長い時間をここで見つけて居りました。入口に「独立自主自力更生」

の朱の文字が壁にはめ込まれており、中に入ると「同心同德為把我国建設」の幕がかかけられており、國民が建国の熱意に燃えている事はたしかのようです。

中国は共産主義の国なので国民は皆労働に服し失業者は居りませんが、一日二十四時間三交替で八時間働き八時間休息をとると残りの八時間は何もする事がなく、上海でも西安でも蘭州でも木蔭に椅子を持ち出してただジッとしている人が沢山居りました。私達はいい見物にされました。材料もなく技術もなく、又その得た収入は国家の収入となると云うことであれば誰でも働く意欲を失つてしまふのは当たり前と感じました。

バスの運転手も通訳も十二時から二時迄一時間は昼休みの時間だとの事でホテルにバスを戻してしまいます。運転手も通訳も公務員ですから致仕方ありませんが、日本人なら次の見学地で休む式なので、この辺に国民性の違いがあるのかも知れません。三十度を越すと休憩を取る事になつてゐるのだとですが、政府は三十一度をはるかに越しても二十九度半位で押えているとの事。政治温度だと云つて居りました。

西安で秦の始皇帝の陵に行つたとき、階段の両側に子供と老人が並んで草を編んだかごや手さげを売つて居りました。通訳の話では子供の売つた収入も国家の収入となるとの事。ノルマ達成の為には子供も老人も働かなくてはならないのでしょうか。

同じ労働者でも農民の方はまだましです。組織は國家の最高機関として人民公社があり、その下に生産大隊（千人—四千人単位）又その下に小隊（百人—千人）が一つの集団として働いて居ります。現在は人数に応じて収穫物の三パーセントを自己の所有とすることが出来るので、各都市に朝市があつて、そこへ自分の所産を出せる収穫物を売りに行つています。立派で新鮮な農産物が売られて居り、朝市のものが一番品質のよいものだとの事です。

朝市には生活必需品をはじめ水も売つて居りましたし、ミシン一台ですぐ修理や改造をしてくれる人が何人も居りました。



福祉については医療は労働者、公務員は無料で農民は生産高に応じて無料になるとの事です。衛生面に重点を置いているとの事で、愛玩用のペットは許可制とあります。西安の人民広場で小鳥のかごを持っている人を見かけました。

どの都市でも人民広場と云うのがあり、上海は競馬場の跡との事。西安でも三千人は樂に収容出来る広場があり、早朝から太極拳をして居りました。老若男女子供も混つて、皆思い思いにやつて居りました。手だけを動かしている者、全身でやつている者、槍を持つている者、房がついた刀を持っている者、大きな青竜刀を持つている者、棒・短剣・なまりの玉等さまざまなものを持って皆汗を流して居りました。一人で、二人で、グループでと、好きな場所で好きな方向に、雑談などしている人は一人も居りませんでした。七時近くになつた頃、沙が引くよう皆居なくなつてしまひました。この西安の広場で若い人達が大勢、外灯の下で読書して居りました。家中よりは外灯の方が明るいとの事でした。螢の光窓の雪を地で行つてゐるみたいです。尚、時間差は中国一率に日本の一時間おくれです。上海と敦煌とでは大部のズレがありましたが、それでも国内一率との事でした。

中國の乗物は大衆はバスと自転車で乗用車は高級官僚用のようです。十五日間で乗用車は二台より見ませんでした。バスは全部トロリーバスでいつも沢山の人々が乗っていました。車は日野ヂーゼルと三菱重工のものばかりでした。労働者の自転車は相当数だと思います。普及率は百パーセントに近いのではないでしょうか。

十五日間同行した通訳は三十二才の女性で、大学をして勤務している人でしたが、月給は日本円になおして六十円、その内賃三円、食事外生活必需経費は十円十五円との事で、二十円あれば御主人と子供と三人の生活は十分との事。ですが通訳の着していた普

通のグラウスが三十二円、女性用のズボンは二十円との事で、一ヶ月の給料では生活費の残りで上下は買えないと言ふ事になります。御主人は教員との事でしたのが、私より給料が低いと云つていましたから、多分、背広一着作るのに三ヶ月の月給がとんでしまうのでしょうか。労働者の乗っている自転車も四ヶ月の給料で買うとの事です。ですから多少穴のあいた下着など、堂々と外に出て家の窓と街路樹の枝に棒を渡して干して居ります。着れる迄着ると云ふことです。

テレビ、カメラ、ラジオなど、なかなか買えないのが当然の事です。最近中堅サラリーマンの中に、二眼レフのカメラが流行し始めたとの事、時々一眼レフを首から下げているのを見かけました。テレビなどは想像外で、一般にはまだままで。

食事は日本で食べる中国料理の感覚ではガックリ来

ます。主食・副食の別はないとの事ではじめからデザートに類するものが並んでいます。奥地へ行くに従つて淡白な味となりそのかわり暑さに耐える辛味は胡椒が主体となります。御馳走とは甘味を意味し何にでも砂糖の味となり瓜やトマトに砂糖をかけて出されたのは閉口しました。出発前おかゆが出来るからそれにあ

う食物(梅干・やきのり等)を持参した方がよいとの事でしたが、おかゆらしきものは上海だけで奥へ行くに従つてお米は浮いてる状態で、おも湯かおまじりです。肉料理は一、二品だけで主体は野菜です。魚は一回だけ食べました。草魚との事でした。トマトは黄色ではじめはレモンかと間違いましたがトマトでした。大きさもレモン位。ただし皮が少しかたいようです。ですが西瓜とメロンはさすが発生の地だけあって美味でした。

生水が飲めないので結局西瓜やメロン、瓜等を食べる機会が多いのであります。街の中どこでも西瓜や瓜の種子がちらばり、住民がどこでもしゃがんで食べて居りました。

トイレは出発前に聞いては居りましたが、行って見て呆然とした次第です。男と女は別れます、ドアはなく天井もなく後と両側が三メートル位の高さにかこ

つてあるだけで、つぼが五七並んでいると云うもので。世界中の人類は誰でも同じ事をするのだからあえて不思議な事をしているわけではないと云えればそれまでの話ですが、吾々日本人の感覚としてはとてもなじめませんでした。他の人達からどうしたと質問をうけますが、私達同行十三人は数人づつたまつて同じ事をして一人として早かつたり遅かつたりしないで共同戦線でした。ホテルは水洗式でしたが、水が少ないのか機械の修理が出来ないのか満足なのは一つもありませんでした。いちいちタンクのふたを取り、中の心棒を持ち上げて水を溜めてから流すと云うやり方で苦労しました。安西の招待所に泊ったときは建物の裏まで懐中電灯を持って出かけました。敦煌では前はすぐれがぶら下つていましたが自分の行為の行衛が丸見えで先は煙です。これも一回でコリました。

風呂はホテルは洋式ですが、招待所はシャワーで、それがやはり機械が壊れて調節がきかずお湯が熱くても水を出す事が出来ず、カチカチ山と同じで早々にとび出してしまいました。毎日入浴する習慣は日本人だけのようです。中国人は毎日入らないらしいです。

お金は外国人専用は兌換券で基本は元です。呼ぶ時

はえんと呼んでいました。指定された店、友宜商店又は文物商店以外では買えません。民間は人民券で全々別の紙幣です。住民のものをほしいと云う時は人民券を入手しないと買えません。比率は、中國百に対しても日本百三十五の割でした。

西安の友宜商店で一つのトラブルがありました。私は兌換券で買物し、おつりを人民券で受け取りました。本来友宜商店は外国人専用ですから人民券があるわけがないのです。そこでそのもられたおつりの人民券で次の買物をした時、その人民券ではダメと云うのです。今もらつたおつりが使用出来ないとはどう云う事かとケンケンガクガク言葉が通じないので大きさで通訳を引ばつて来て交渉してもらいましたがラチがあきました。

トイレは出発前に聞いては居りましたが、行って見て呆然とした次第です。男と女は別れます、ドアはなく天井もなく後と両側が三メートル位の高さにかこ

いらしく、又それがないと外人に売る品物が買えないのです。それでおりを自分のふところから出して兌換券を隠してしまつたらしいと云う事でした。人民券は帰国の時日本円に替えてもらえませんので何とか買物をして一枚だけ記念に残しましたが、やはり国民の使

用するものは貧しいものが多いのだろうと思います。

品物は象牙の細工とか唐三彩とか立派なものがありほしいと思うものもありましたが包装が完備してなく、手に持つ以外はダメで送るなどとは夢の話です。日本

のようにはパッキングを入れたり二重三重の包装であります。ザラ紙にくるくと包むだけで箱があつても中に各自かと改めて入れないと危険この上なしです。

日本の包装は過剰ですが少ないものも又困るもので。又テープもシールもなく、包みの折目の間にハシを差し込んで、それはとても器用にやつて居りました。総じて根気のいる細かい仕事のものが展示されており、見ただけでも楽しくなります。手の混んでいるわりには値段は安いと感じました。

（以下次号）

編集後記

景氣後退—不況のうちに56年が来年に向けてのさし

たる好材料もないまま暮れよつとしております。

低迷の経済環境の中で組合員の中から数社の脱落者が出了事、外線工事関係で3社が死亡事故の続発をみた事は、これ又痛恨の極みであります。

好況 不況にか、わらず『高い代償』につく災害事故に對し、平素から適確な安全管理に充分意をつくさねばと反省させられました。

どんな不景気でも『それでも喰べて行かねばならぬ』なのですから、来るべき年も組合の全機能をフルに活用して力強く前進するのみと考えます。

組合員諸兄のご健勝とご健斗をお祈りいたします。

吉田 要

平沼 智子

佐々木三男

坂本 豊一

あかるい明日を技術でひらく

東芝電材株式会社

函材館株式會社

函館市大繩町二十二番十四号
電話 函館 四一一二三四一

吟味する

松下電工株式会社

函工株式會社
館營業所

函館市昭和町三九六の一一五八二一

工事材料・電化製品

丸晃電氣株式會社

函館市西桔梗町五八九一四九
電話四九一三一三

全道随一の照明設備センター
電設機器資材の総合電機卸

本社 照明 営業所
札電函館市 話題市 市西桔梗町 五七一〇七
幌市 千代四九一六二一
・代才町 一二九の三一
八二一七九
雲・福島八三一
・福島八三一

大興電機株式会社

三菱電材特約店
あらゆる電設資材卸

函館市西桔梗町五八九一〇八
電話四九一六二二六

電設資材・機電綜合卸

040
電函館市松川町三四一
電話四二一六二三一三

明日をひらく電設資材の総合卸商社

株式会社 工三商行 官営業所

電話四二一一〇一一(代表)
本社・札幌
出張所・苫小牧
支社・東京
當業所・釧路

電氣工事材料
音響通信機器 総合商社

本社 札幌市中央区北六条西一丁目
支店 063 苫小牧市新中野町一丁目二番地
函館営業所 063 函館市島町六番地
○一二八五五一四一七番地

石垣電材株式会社
函館営業所